

1学年だより

令和3年9月15日(水)

夢の宅配便

1年学年主任

水野 喜代治

第2回定期試験…みんな頑張れ！

「テストを解くときの順番」

今日から、第2回定期試験がはじまりました。三日間で9教科のテストを受けることになります。テスト監督をしていると、問1から順番に解答していく生徒と、わからない問題は後回しにして解き進めていく生徒の二つのタイプに分けられることに気がつきます。私自身、中学生の時は順番に問題を解いていくタイプの生徒でした。そのため、難しい問題がテストの最初にあると、そこに時間をかけてしまい、最後の問題まで解ききれなかった悔しい経験があります。テストを解いていく時の時間配分は重要で、まず最初に問1から最後の問いまで目を通して、テストを解くと良いと思います。後ろの方に解きやすい問題が出題されていることもよくあるからです。特に数学や社会、理科などは、この感覚がないと問題に追われて、最後まで解ききれないことも起きてきます。

私の兄に「喜代治はお寿司を食べる時に、好きなお寿司をのこして食べるタイプだね。テストはそのタイプは駄目だよ。好きなお寿司から食べていく！この感覚だよ。」とアドバイスされました。それ以後、意識してテストに臨むようにしました。テスト問題は、多くの場合、同じ配点が多いです。自分がつまずいて悩む問題は、後回しにしましょう。とにかく先ずは、一回最後まで解くことが大事です。その後に、とばした問題をじっくり考えて解いていきましょう。テスト監督をしてるとテストが得意な生徒はこうして問題を解いていることがわかります。参考にしてください。

